

## 観光地域づくり法人形成・確立計画

## 1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分	地域連携DMO	
観光地域づくり法人の名称	一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 大分県別府市、中津市、宇佐市、豊後高田市、国東市、杵築市、日出町、姫島村	
所在地	大分県別府市	
設立時期	平成29年4月3日設立	
職員数(理事数)	3人(12名)	
代表者(トップ人材:法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)	(氏名) 松川 幸路 (別府市観光・産業部部長)	別府市観光・産業部部長。別府市の観光における責任者であり、(一社)豊の国千年ロマン観光圏の代表理事として広域観光圏の責任者も担う。
代表者(トップ人材:法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者)	(氏名) 西田 陽一 (別府市旅館ホテル組合連合会 会長)	別府市旅館ホテル組合連合会会長。おんせん県おおいの観光誘致協議会の会長も務め、大分県ともパイプを持つ。
データ分析・収集の専門人材(専門人材)	(氏名) 堤 栄一郎「専従」	(一社)別府市観光協会に11年勤務。平成29年4月に(一社)豊の国千年ロマン観光圏の事務局長に就任。事業全体の進捗管理、収集したアンケートの集計・分析などを行っている。
財務責任者(CFO:チーフ・フィナンシャル・オフィサー)旅行業務の責任者(専門人材)	(氏名) 堤 栄一郎「専従」	(一社)豊の国千年ロマン観光圏の事務局長として、事業全体の進捗管理、会計管理を行っている。市町村負担金、収益事業収益、事業受託収入などの財源確保に関する責任を担う。また、当法人の旅行業務取扱管理者であり、造成した当地域ならではの着地型旅行商品の販売、広域ガイド・英語ガイドの手配、宿泊斡旋、交通手配などの業務の責任者を務める。
観光品質認証部門の責任者(専門人材)	(氏名) 佐藤 隆 (一社)豊の国千年ロマン観光圏 理事)	日本旅行に長年勤務した経験を持つ。地域資源を活かした観光振興に取り組んでおり、幅広い人脈をもち、人材育成において高い知見と能力を持っている。観光品質認証部門の責任者として、SAKURA QUALITYを導入した宿泊施設の品質向上を図る。また、観光地域づくりマネージャー代表として豊の国千年ロマン観光圏のけん引役を務める。
プロモーションの責任者(専門人材)	(氏名) 神元 詠子「専従」	平成29年4月に(一社)豊の国千年ロマン観光圏の事務局次長に就任。前身の豊の国千年ロマン観光圏協議会より専従職員として「豊の国千年ロマン観光圏」の観光地域ブランド確立支援事業、訪日外国

(別添) 様式 1

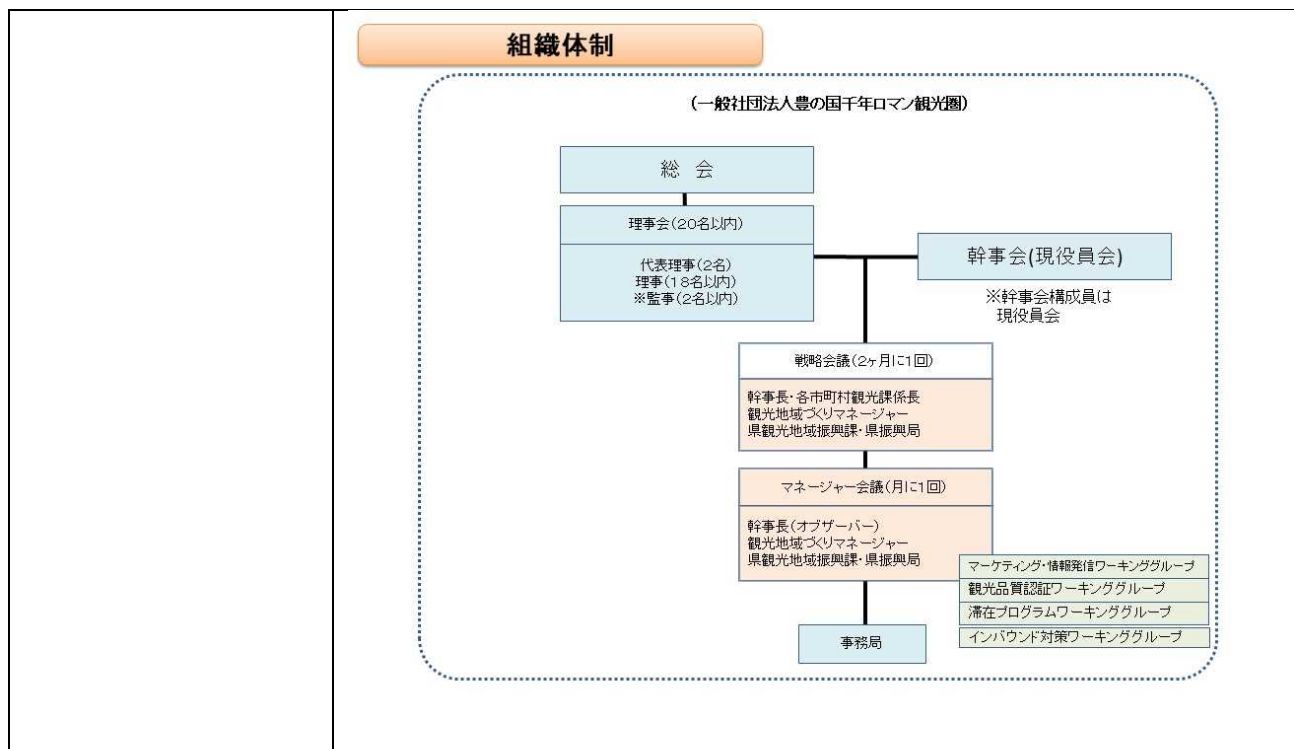
		<p>人旅行者周遊促進事業に携わる。 旅行会社での勤務や海外語学研修の経験を活かし、国内・海外のプロモーションの中心的な役割を担う。 国内旅行業務取扱管理者資格所持。</p>
<p>当地域ならではの歴史を活用した企画の責任者</p>	<p>(氏名) 小野 辰浩 (FeEL プロダクトカンパニー)</p>	<p><b>前職は</b> (一社) 宇佐市観光協会事務局長。宇佐神宮を中心とするこの地域の歴史に精通し、当地域ならではの歴史・文化を活かした世界でもここにしかない滞在プログラムの実施などに取り組む。<b>自身もガイドとして活動しながら、ガイド育成等にも尽力している。</b></p>
<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係市町村観光担当課、大分県観光誘致促進室、大分県東部振興局、大分県北部振興局 (観光戦略)</li> <li>・ 各市町村交通担当課 (地域公共交通)</li> </ul>	
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>公益社団法人ツーリズムおおいた、各市町村観光協会 道の駅、里の駅、飲食業組合、宇佐国東半島を巡る会、国東半島峯道ロングトレイルクラブ、JR九州、大分県グリーンツーリズム研究会等 (滞在プログラム開発・情報発信) 大分航空ターミナル、旅館ホテル組合等 (滞在プログラム販売) 商工会議所、商工会等 (ふるさと名物の開発) バス協会、タクシー協会、レンタカー協会、フェリー会社等 (交通対策)</p>	
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>【該当する登録要件】② (概要) 観光地域づくり法人が行う取り組みに関する合意形成の手順として、地域住民、民間団体とネットワークを持つ観光地域づくりマネージャー (観光協会等) を中心に企画・立案し、その案を行政関係者が入る戦略会議にて再度議論し承認、実施を行っている。 また、テーマ毎に分けた「マーケティング」「滞在プログラム」「観光品質認証」のワーキンググループを設置しており、具体的な企画や取り組みはワーキンググループで企画案を作成する。 ・ 圏域内の行政および観光協会、観光地域づくりマネージャー (観光庁認定) がメンバーとなる会議等を2ヶ月に1回程度開催し、情報共有、事業執行状況の確認等を行ったうえで合意形成を図る。 ・ 観光地域づくりマネージャーが主体となり事業計画を作成し実行していくとともに、必要に応じて民間事業者の意見を反映できる観光地域づくり推進体制をつくる。</p>	
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>各地域にて住民参加型のワークショップを開催するほか、地域住民への啓発を目的としたシンポジウムを開催。 公式 facebook を活用した情報発信など。</p>	
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>平成29年4月3日に設立</p> <p>・・・・・・・・参考 (平成22年度～平成28年度) ・・・・・・・・</p> <p>※以下の活動は、任意団体 (豊の国千年ロマン観光圏協議会) の活動実績</p> <p>平成22年4月に観光庁から『観光圏』の認定を受け、大分県北部地域の8市町村 (別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・国東市・杵築市・日出町・姫島村) で構成する「豊の国千年ロマン観光圏」の取り組みがスター</p>	

<p>ト。 「千年ロマン時空の旅」というコンセプトの基、千年以上の歴史・温泉・食をテーマにした事業を各市町村、民間団体の協力により実施することとなった。</p>	
事業	実施概要
<p>情報発信・プロモーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22～28年 プロモーション推進事業 ブランドコンセプトに沿ったHP、ガイドブック、広域マップの作製。 東九州自動車道を活用した誘客プロモーション等。</li> <li>・平成23年、24年 千年ロマン号運行事業 小倉駅から出発し圏域をめぐるバスを運行。圏域の歴史を案内するバスガイドが乗車し、各地域では地元ガイドが案内した。</li> <li>・平成27年～ 全国観光圏推進協議会 全国12（現13）観光圏が定期的に集まり、情報共有と連携事業を協議する全国観光圏推進協議会を開催。また、全観光圏共同でシンポジウムを開催し、観光圏の取組みを発表した。</li> </ul>
<p>受入環境の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23～28年 ガイド育成事業 圏域内の歴史をまとめたガイドマニュアル本を作成。マニュアル本を活用した歴史検定やガイド研修会を開催した。</li> <li>・平成23～26年 別府八湯温泉道特別編 別府市内の温泉を88箇所めぐると温泉道名人に認定される「別府八湯温泉道」に、圏域内の特徴的な温泉を加え、特別に認定する企画を実施した。計500名が認定。</li> <li>・平成28年 法人化準備 プラットフォーム機能を強化するため、一般社団法人化を進めた。</li> </ul>
<p>観光資源の磨き上げ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年～ 千年ロマン夜学 住民が参加するワークショップを開催。当地域ならではの歴史・文化をテーマとした体験プログラムを企画した。</li> <li>・平成25・26年 千年ロマン時空博 千年ロマン夜学で企画した体験プログラムを開催。25年は20プログラム、26年は46プログラムを実施。</li> <li>・平成27年～ 一丁目一番地の滞在プログラム ここにしかない価値、歴史、文化を活用した滞在プログラムとして、宇佐神宮の幻の特殊神事「行幸会」をモチーフとした周遊ラリー、ウォーク大会を開催。</li> </ul>
<p>・・・・・・・・法人設立後の取組み・・・・・・・・</p>	
<p>平成29年4月3日に設立。6月1日に旅行業2種免許を取得し、収益事業としてこれまで造成してきた滞在コンテンツの販売、育成したガイドの手配に加え、宿泊斡旋、交通手配等の旅行業務を行う体制を構築し、ワンストップ窓口機能を強化した。</p>	

事業	実施概要
情報発信・プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年～ プロモーション事業 平成30年に国東半島の六郷満山開山1300年を迎えるにあたり、HPに六郷満山の特集ページを整備。 公式HP, SNSを活用した情報発信の継続。 自社商品の販売強化を目的としたセールス・プロモーションの継続。</li> <li>・平成29年～ 全国観光圏推進協議会 全国13観光圏が定期的に集まり、情報共有と連携事業を協議する全国観光圏推進協議会を継続して開催。 「Undiscovered Japan」をテーマとした合同プロモーションを継続して実施。</li> <li>・平成30年～ 九州3観光圏の連携 九州にある3つの観光圏が連携し、3観光圏をめぐる北部九州のモデルルートを設定し、営業ツール（日・英）にまとめた。各商談会で活用し九州への誘客を図る。</li> <li>・JNTOと連携した海外プロモーション JNTOの訪日グローバルキャンペーンの他、コンテンツ収集事業やオウンドメディア活用事業等を活用し、当地域の魅力的なコンテンツや観光資源を海外に発信する。</li> <li>・農林水産省認定「SAVOR JAPAN」 2020年度に認定を受けた。農林水産省の本事業を活用しながら当地域ならではの食・食文化を海外に発信する。</li> </ul>
受入環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年～ スオーナダフェリー&amp;レンタカープラン 山口・広島を主なターゲットとして、スオーナダフェリーとレンタカーを組み合わせた旅行商品を造成し、販売を行うこととした。国東半島の二次交通対策にも繋がった。</li> <li>・平成29年～ 観光案内所連携強化 観光案内所の連携強化を図るための合同研修を開催。共通案内版、パンフレットラックを整備した。</li> <li>・平成29年～ 観光品質認証事業 観光品質認証制度「SAKURA QUARITY」を導入し、圏域内の宿泊施設の品質向上を図っている。</li> <li>・平成29年～ ガイド育成 広域ガイドの研修が終了し、33名が認定ガイドとして登録された。旅行業を活用しガイド手配を実施し実績ができた。令和元年は英語ガイドのネットワークを強化。全国通訳案内士を含む15名がガイドとして登録した。 アジア市場を見据え、2021年度より中国語ガイドの育成を開始し、10名が登録した。</li> <li>・平成29年～ サイクルツーリズム メイプル耶馬サイクリングロードを活用したモデルコースを企画しパンフレットを作製。 国東半島をめぐるサイクリングコース「仁王輪道」が完成。 主要なサイクリングコースを繋ぐルートを整備。</li> </ul>

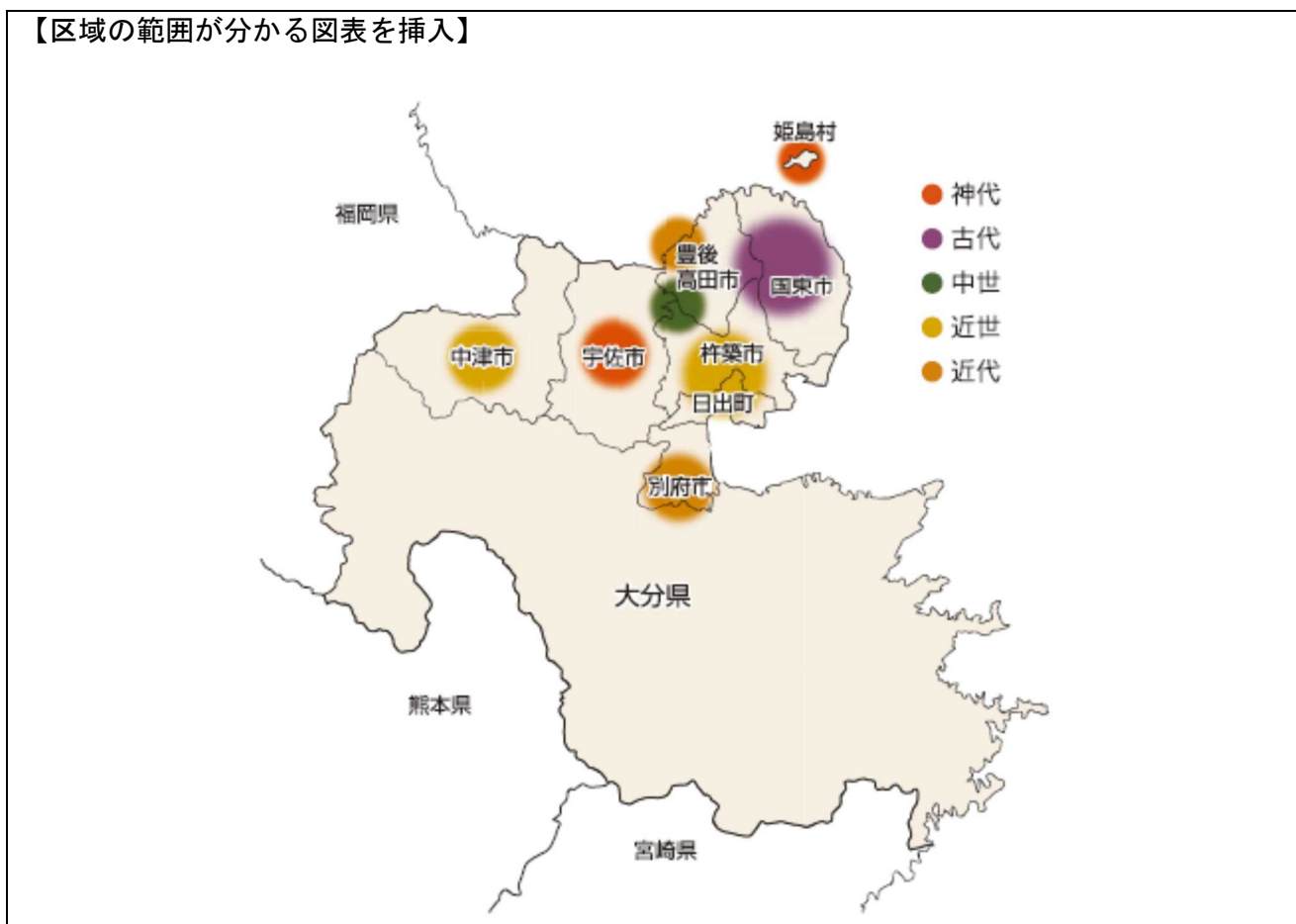
(別添) 様式 1

	<p>観光資源の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年 千年ロマン時空博 新たな体験プログラムの販売と商品化を目的として、千年ロマン時空博を開催した。</li> <li>・平成29年～ 一丁目一番地の滞在プログラム これまで取り組んできた宇佐神宮の「行幸会」の道を活用した企画では、地元ガイドが案内するウォーキングツアーとして開催した。令和元年は英語ガイドが案内するインバウンド向けツアーとして企画しモニターツアーを開催。</li> <li>・国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会（大分県農林水産企画課）との連携により、世界農業遺産をテーマとするコンテンツの造成・販売を行っている。</li> </ul> <p>(定量的な評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・滞在コンテンツ等の販売実績（全体） 2016年：24件・234名    2017年：70件・522名 2018年：91件・480名    2019年：117件・603名 <b>2020年：62件・298名</b></li> <li>・スオーナダフェリー&amp;レンタカープラン販売実績(申込件数・利用者数) 2018年：26件・75名、2019年：52件・138名、<b>2020年：4件・7名</b></li> <li>・SAKURA QUALITY 認証施設 11施設(2020年3月末現在)</li> <li>・登録ガイド数 国内ツアー32名、英語ガイド<b>14名(2021年3月末現在)</b></li> <li>・ガイド手配実績 ※（ ）内は外国人 2016年：12(1)件・232(2)名    2017年：38(1)件・764(13)名 2018年：27(4)件・607(19)名    2019年：28(7)件・597(90)名 <b>2020年：9(2)件・32(2)名</b></li> <li>・レンタサイクル利用数 2018年：8,938件、2019年：11,658件、<b>2020年：11,551件</b></li> </ul>
<p>実施体制</p>	<p>(実施体制の概要)</p> <p>(一社)豊の国千年ロマン観光圏のメンバーには、観光地域づくりマネージャーを中心に、行政、宿泊業関係者、交通事業者など多様な関係者が参画し、官民が密接に連携した運営を実施している。</p> <p>2ヶ月に1回程度開催する「マネージャー会議」にて、行政・民間・地域の橋渡し役となる観光地域づくりマネージャーを中心に、民間主導型で具体的な事業立案を行い、行政担当者が加わる戦略会議、幹事会と会議を重ねて合意形成を図る。</p> <p>必要に応じて関係者を招集するワーキンググループを開催し、各テーマに合わせた意見交換、情報共有を行い、当地域における課題を解決するための取組みについて議論する。</p> <p>(実施体制図)</p>



**2. 観光地域づくり法人がマーケティング・マネジメントする区域**

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

地域全体としては、日本有数の温泉地である別府に加え、宇佐神宮の影響を受け国東半島で栄えた「六郷満山文化」など、古代から中世、明治、大正、昭和と千年の時の流れを感じることができるほど歴史的な地域資源が豊富である。中でも、「宇佐神宮」、「富貴寺大堂」という2つの国宝をはじめ、数々の史跡など総体として魅力を発信する地域であり、誘客力を十分有しているといえる。

平成22年から、区域を構成する地方公共団体で豊の国千年ロマン観光圏協議会を設置しており、顧客視点に立ち、旅行商品の開発など連携した取組を実施。平成29年4月3日に一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏を設立。豊の国千年ロマン観光圏協議会の事業を継承した。

また、観光資源の面からみてもコンセプトとして共通する点が多く、当該市町村で連携した区域設定とするのが適切である。

【観光客の実態等】

当圏域は、全国4万社余りある八幡社の総本宮である「宇佐神宮（国宝）」をはじめとした数多くの歴史遺産、九州最古の木造建築物「富貴寺（国宝）」、国内最大級の熊野磨崖仏、重要文化財の仏像9体を有する「真木大堂」など六郷満山文化ゆかりの史跡、中世の荘園集落の姿を今にとどめる「田染荘」、近世の3城下町（中津、杵築、日出）、日本を代表する温泉地別府など観光資源が豊富にあり、別府市においては、年間200万人を越える国内の宿泊客、約47万人の外国人宿泊客がある。

一方、その他の地域においては、知名度不足やアクセス不便、受入環境が整っていないことから、観光客増加に結びついていない。

また、外国人観光客の全体は増加しているが、韓国、台湾をはじめとしたアジアからの観光客が90%以上を占め、当圏域がターゲットとしている欧州・豪州からの観光客は少ない状況にある。

《参考》

区域内の市町村にある主な観光施設等の観光客数は以下のとおりである。

- ・別府八湯（別府市）・・・年間約816万人
- ・宇佐神宮（宇佐市）・・・年間約160万人
- ・中津城（中津市）・・・年間約35万人
- ・きつき城下町ほか（杵築市）・・・年間約100万人
- ・昭和の町（豊後高田市）・・・年間約40万人

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

《主な観光施設・商業施設》

- ・別府地獄めぐり（別府市）
- ・別府市竹細工伝統産業会館（別府市）
- ・別府ロープウェイ（別府市）
- ・地獄蒸し工房 鉄輪（別府市）
- ・的山荘（日出町）
- ・杵築城（杵築市）
- ・杵築城下町と武家屋敷（杵築市）
- ・昭和の町（豊後高田市）
- ・中津城（中津市）
- ・福澤諭吉旧居（中津市）
- ・黒田官兵衛資料館（中津市）

《自然・文化》



(別添) 様式 1

- ・宇佐神宮（国宝・宇佐市）
- ・富貴寺大堂（国宝・豊後高田市）
- ・六郷満山寺院（両子寺、文殊仙寺、天念寺など）
- ・国東半島宇佐地域（世界農業遺産認定エリア、日本遺産認定）
- ・豊後高田市田染荘小崎地区の農村景観（重要文化的景観）
- ・別府の湯けむり・温泉地景観（重要文化的景観）
- ・別府湾岸・国東半島海辺の道（日本風景街道）
- ・おおいた姫島ジオパーク（日本ジオパーク認定）
- ・耶馬溪（新日本三景、日本遺産認定）
- ・杵築城下町（国の重要伝統的建造物群保存地区選定）

《スポーツ・イベント等》

- ・行幸会の道千年ロマンウォーク（中津市、宇佐市、豊後高田市、国東市、杵築市）
- ・別府温泉まつり（別府市）
- ・城下かれいまつり（日出町）
- ・ホーランエンヤ（豊後高田市）
- ・姫島盆踊り（姫島村）
- ・放生会（宇佐市）
- ・ケベス祭り（国東市）
- ・修正鬼会（国東市・豊後高田市）
- ・ひなまつり（中津・杵築・日出）
- ・第33回国民文化祭・おおいた／全国障がい者芸術・文化祭
- ・六郷満山開山1300年祭
- ・べっぶ鶴見岳一気登山大会（別府市）
- ・とみくじマラソン（国東市）
- ・ツール・ド・国東（杵築市、国東市、豊後高田市）
- ・2019年ラグビーワールドカップ開催年（※大分市）

各地にある観光資源は、それぞれ時代が異なっており（神代から近代まで）、それぞれを結びつけることで、周遊・滞在を促進することができる。神代から中世にかけては、神話の島「姫島」、宇佐神宮から国東半島の六郷満山文化、田染荘の荘園風景など、近世から近代までにかけては中津、杵築、日出のそれぞれ魅力ある城下町文化の体感、豊後高田で復興した昭和の町並み「昭和のまち」、別府の共同温泉文化まで千年を超える歴史をテーマとして広域的に周遊できる。

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

市町村名	施設数	収容力	備 考
別府市	108	4,419 室 14,449 人	※旅館ホテル組合加盟施設のみ
中津市	19	773 室 1,581 人	
宇佐市	12	211 室 781 人	
豊後高田市	9	237 室 480 人	
国東市	23	266 室 959 人	
杵築市	12	638 人	
日出町	4	580 室 1,188 人	
姫島村	9	288 人	



(別添) 様式 1

【利便性：区域までの交通、域内交通】

約 1 時間 45 分

## 各エリアからの移動手段別移動時間

高速道路・新幹線・フェリールート




### ■ 観光圏エリアの交通


国際線の航空アクセスは、羽田・成田・中部国際・関西国際に加え、韓国仁川とあり、外国人観光客のアクセスは、首都圏では羽田・成田からの航空便。関西圏からは関西国際での乗り換えかJR移動の動線になる。

観光圏エリア周遊は、JRもしくは大分空港からのレンタカーが主になり、国内外からの来訪者受け入れには、二次交通の整備が現状としては必要になる。


※ 別府駅着の時間で算出

※ 交通が赤色のマークは各エリアの主な移動手段


**東京**  羽田発・約1時間35分(バス込2時間20分)  
成田発・約2時間(バス込2時間45分)


 東京駅-別府駅  
約6時間20分


**名古屋**  中部発・約1時間10分  
(バス込1時間55分)


 名古屋駅-別府駅  
約4時間40分


**大阪**  伊丹発・約1時間5分  
(バス込1時間50分)

 新大阪駅-別府駅  
約3時間50分

 スオーナダフェリー(徳山-竹田津)  
約2時間

 宇和島運輸フェリー(八幡浜-別府)  
約2時間45分

 さんふらわあ(大阪-別府)  
約11時間45分

 さんふらわあ(神戸-大分)  
約11時間20分

**岡山**  岡山駅-別府駅  
約2時間55分

 約6時間

**広島**  広島駅-別府駅  
約2時間20分

 約4時間

**下関**  約1時間30分

**小倉**  約1時間45分

【利便性：区域までの交通、域内交通】

(別添) 様式 1



《空路》

国東市にある大分空港の路線は、国内5路線（東京（羽田・成田）、大阪（伊丹）、大阪（関西※現在運休中）、名古屋（中部国際空港））に加え、国外3路線（ソウル、プサン、ムアン※現在運休中）、が運航している。

大分空港周辺にはレンタカー会社も多くあり、圏域内市町村への向かう路線バスまたはアクセスバスが運行している。

《陸路・自動車》

圏域内の自動車での移動は東九州自動車道（有料）、大分空港道路（無料）を利用することで係る時間は概ね1時間程度である。

《陸路・鉄道》

JR（日豊本線）の駅が、中津・宇佐・杵築・日出・別府にある。特別急行ソニックを利用することで福岡市まで約2時間で移動できる。

《海路》

別府市にある国際観光港からは、大阪府へ向かうフェリー、愛媛県八幡浜へ向かうフェリーが運航している。また、竹田津（国東市）と徳山（山口県）を結ぶフェリーも運航している。

【外国人観光客への対応】

別府市にある別府外国人観光客案内所（JNTO認定外国人観光案内所：カテゴリー2）には翻訳されたパンフレットはもちろん、ネットの設備もあり、外国人観光客が別府市、大分県内の歴史や観光スポットを訪れる際は、同施設を利用して旅を満喫できるようサービスを提供している。

JNTO認定外国人観光案内所は上記のほか、「杵築駅観光案内所（カテゴリー2）」「杵築市観光案内所」「道の駅くにさき くにさき観光案内所」「中津耶馬溪観光協会」（全てカテゴリー1）があり、各案内所との連携を図ることによって、広域の観光案内も可能となる。

圏域内では自治体・観光協会等の取り組みにより、W i f i 環境、トイレの整備、多言語パンフレットの整備なども進んできている。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

(別添) 様式 1

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行目的・同行者	来訪者が当地域に何を目的に、誰と訪れているかを調査し、今後の観光振興策に活かしていくため。	アンケート調査（聞き取り調査・宿泊施設留め置き調査/郵送回収）を実施する。
旅行消費額	当地域での消費額を調査することで、今後の観光振興策の基礎資料として活用するため。	
情報収集の手段	来訪者が何を見て当地域を訪れているかを調査することで、広告等を実施するにあたって効果的な手段について参考にするため。	
来訪者の総合満足度	当地域を訪れた観光客の総合満足度を調査し、今後の観光振興策の基礎資料として活用するため。	
来訪者の再来訪意向	当地域を訪れた観光客の再来訪意向を調査し、今後の観光振興策の基礎資料として活用するため。	
リピーター率	当地域を訪れた観光客のリピーター率を調査し、今後の観光振興策の基礎資料として活用するため。	
延べ宿泊者数	当地域で宿泊した観光客の数を調査し、今後の観光振興策の基礎資料として活用するため。	
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	グーグルアナリティクスを活用して実施。

## 4. 戦略

### (1) 地域における観光を取り巻く背景

圏域内の各市町村では人口減少が進んでおり、農林水産業においても高齢化等の影響で就業者や事業所が減少傾向にある。  
 こうした地域の課題に対し、観光地域づくり法人（DMO）を中心として既存の観光資源を活用した観光地域づくりを図り、新たな雇用の創出や担い手不足の解消、交流人口の増加につなげることをしている。

### (2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<b>強み (Strengths)</b> ・宇佐神宮・六郷満山文化という唯一無二の資源 ・神代から近代まで歴史を体感できる「時空の旅」の素材が豊富 ・別府市は温泉資源が豊富で、留学生が多い ・世界農業遺産に認定された農業システム	<b>弱み (Weaknesses)</b> ・知名度不足 ・国東半島地域における公共交通アクセスの不便 ・外国人受入環境の整備
外部環境	<b>機会 (Opportunity)</b> ・2016年（平成28年）東九州自動車道の全線開通 ・2018年（平成30年）に開山1300年を迎えた六郷満山文化	<b>脅威 (Threat)</b> ・他の観光地との競争激化 ・外国人観光客（アジア・欧州等）のニーズの多様化 ・発地への情報発信の多様化

(別添) 様式 1

<ul style="list-style-type: none"><li>・2019年(令和元年)ラグビーW杯の開催(大分市が試合会場となった)</li><li>・2021年(令和3年)東京五輪&amp;東京パラリンピック開催</li></ul>	・新型コロナウイルス感染拡大の影響
--	-------------------

(3) ターゲット

<p>○国外ターゲット層 欧・豪の富裕層</p>
<p>○選定の理由 当圏域は、神仏習合発祥の地である宇佐神宮を中心として繁栄した六郷満山文化をはじめ、世界農業遺産に認定された循環型農業、日本を代表する温泉地別府など、歴史、自然、文化が色濃く残り、日本の原風景を数多く感じることができる地域であるとともに、じっくり、ゆっくり、歩くくらいの速度で巡ることが、最大の魅力である。 よって、当圏域の魅力に対して価値を感じることに、また、長期的な滞在が必要になることから、欧豪の富裕層を対象としている。 なお、当圏域内にある、主に英語圏の外国人を対象としたツアー会社「Walk Japan」では、上述の魅力を活かしたツアー(5泊~10泊程度)を企画し、当圏域に年間約200人の高単価旅行客を受け入れている。</p> <p>○取組方針 全国13観光圏で連携し、ゴールドルートに代わる新たな観光地域として情報発信を行っていくとともに、当観光圏を構成する市町村・観光協会が出展する旅行商談会、イベント等でも情報発信を行い、当地域への誘客を図っていく。 また、外国人受入環境の整備についても、大分県や市町村等によって進められており、今後もストレスフリーの環境づくりを進めていく。</p>
<p>○国内第1ターゲット層 福岡県・宮崎県・山口県・広島県</p>
<p>○選定の理由</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・九州のヒト・モノ・情報が集まる一大マーケットである。(福岡県)</li><li>・平成28年4月の東九州自動車道全線開通により、アクセス環境が格段に向上した。(福岡県、宮崎県、山口県、広島県)</li><li>・当圏域に対する十分な需要が見込める。(福岡県及び広島県において、当圏域に対する需要調査より)</li><li>・スオーナダフェリーの利用により圏域への移動が便利。(山口・広島)</li></ul> <p>○取組方針 大分県と連携をはかりながらプロモーション活動を実施していく。 山口の徳山港と国東の竹田津港を結ぶスオーナダフェリーを活用し、山口・広島からの誘客を図る。</p>
<p>○国内第2ターゲット層 関東</p>

(別添) 様式 1

○選定の理由

- ・国内最大のマーケットである。
- ・圏域内にある大分空港を結ぶ航空便が豊富にある。
- ・当圏域への宿泊客が福岡県に次いで多い。
- ・滞在日数が長い。

○取組方針

- ・その他 13 観光圏及び大分県と協働し、パブリシティを中心したプロモーション活動を行う。

(4) コンセプト

①コンセプト

『千年の記憶がひもとく 知られざる日本』  
—千年ロマン時空の旅—

②コンセプトの考え方

千年の記憶・・・神代から近代までの千年の時の流れに培われた暮らし・生活文化の記憶。  
千年を超えて受け継がれてきたこの地で暮らす人々の語りの記憶。  
それぞれの時代の痕跡が今もなおその姿を残す場所の記憶。

知られざる日本・・・表舞台の「都」の歴史文化では語れない、もう一つの日本の歴史文化。  
宇佐神宮・六郷満山文化に秘められた神仏習合の歴史。  
どこか忘れてしまっているようなかつてあった日本の生活文化。

コンセプトストーリー

大分県 8 市町村に息づく神代・古代・中世・近世・近代の千年を超える歴史。現在の日本を形づくってきた歴史が記憶となってこの地に刻まれている。それはこの地で生きぬいてきた人々の記憶であり、絶え間なく受け継がれてきた場所文化の記憶として残されている。  
奈良・京都・大阪・江戸などの表舞台で繰り広げられたいわゆる日本史とは異なる歴史がこの地にある。語り、紡がれた知られざる日本の物語を千年の記憶がひもといてゆく。  
千年ロマン時空の旅は、知られざる日本の姿を時空を超える旅でひもといていくもの。その鍵は、旅の中で出会う今を生きる人々の語りの中に隠されている。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

(別添) 様式 1

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	日本版DMO組織を中心として、地域の関連事業者を集めてコミュニケーションの場を設け、情報共有、共通認識を図っていく。 実施体制 (P5) の通り、事務局会議(必要に応じて)⇒マネージャー会議(2ヶ月に1回程度)⇒戦略会議(2ヶ月に1回程度)⇒幹事会(年3回程度)⇒理事会(年2回)・総会(年1回)と会議を重ねる。 マーケティングデータに基づく戦略づくり。 必要なテーマ毎にワーキンググループを設置。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	宿泊施設の認証制度「SAKURA QUALITY」を全国の観光圏と連携して実施。 旅行商品、食の認証制度を検討する。
観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション	ワンストップ窓口の設置 県及び各市町村と連携し、効果的なプロモーションを実施 旅行業2種免許を活用し、圏域内を周遊する旅行商品の販売。 ブランドコンセプトに基づく圏域内の体験プログラム等の販売。

## 6. KPI (実績・目標)

### (1) 必須KPI

指標項目		2018 (H30) 年度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
●旅行消費額 ※一人あたり (円)	目標	( )	29,966 (31,004)	28,398 (65,204)	30,398 (67,204)	32,398 (69,204)	34,398 (71,204)
	実績	34,455 (79,174)	28,398 (65,204)	25,498 集計なし			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	( )	3,427 (725)	2,161 (20)	2,461 (100)	2,861 (300)	3,427 (725)
	実績	3,421 (663)	3,275 (604)	1,816 (61)			
●来訪者満足度 (%) ※大変満足	目標	( )	21.0 (15.7)	24.6 (26.2)	32.5 (26.7)	32.6 (27.2)	32.7 (27.7)
	実績	16.7 (19.7)	24.4 (25.7)	32.4 集計なし			
●リピーター率 (%)	目標	( )	58.9 (24.5)	58.1 (30.3)	62.4 (30.8)	62.5 (31.3)	62.6 (31.8)
	実績	58.0 (23.7)	57.6 (29.8)	62.3 集計なし			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

### 目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方



(別添) 様式 1

**【検討の経緯】**

目標値は状況を見ながら常に見直しを検討する。令和2年度から続いている新型コロナウイルスの感染拡大の影響を踏まえ、令和3年度以降の目標値の見直しを行った。

新型コロナウイルスの影響は緩和されながらも令和3年度以降も続くことを想定し、令和5年度までに回復を目指す。

**【設定にあたっての考え方】**

●旅行消費額

DMOとしてこの地域にお金を落とす仕組みづくりを担っていくにあたり、旅行消費額が向上しているかどうかは成果目標の一つ。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響から、近隣エリアから回復していくこと、コロナ対策として宿泊補助等が行われることから、特に国内は旅行消費額が下がることを想定し前年維持を目標とする。

●延べ宿泊者数

滞在交流型観光を目指すこと、滞在時間の延長を図るには宿泊が必須。

国内の人口減少を要因とした国内客の減少が見込まれるため、外国人観光客の拡大を強化する。

ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響から大幅に減少することを想定。県内宿泊は4~5月に80%以上の減と大きな影響があったが、Go To キャンペーンにより回復しつつある。特に外国人観光客への影響は大きく、95%以上の減少が続いている。令和3年度以降は外国人観光客の回復を期待するが、これまで通りの宿泊数は期待できないと思われ、令和5年度までに回復を目指す。

●来訪者満足度

リピーターを増やすためには、満足度調査の内、「大変満足」の数値を高めていくことが重要。

地域別のデータを見ると、宿泊の拠点となる別府や、外国人観光客に人気の杵築などは満足度が高いものの、その他の地域で平均値を下げていることがわかる。満足度の低い地域での取り組みを強化することで、全体の満足度を高める。

●リピーター率

地域活性化のためにはリピーターの獲得が欠かせない。当然成果目標の一つとする。

数値は上がっていないが、入込客数は増えているため、新規顧客が増加したと考えられる。別府はリピーターが多く、その他の地域は「初めて」の比率が相対的に高い。

**(2) その他の目標**

指標項目		2018 (H30) 年度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度
●HP年間アクセス数 (PV)	目標	( )	( )	100,000 (300)	100,000 (2,500)	110,000 (2,800)	120,000 (3,000)
	実績	437,486 (57)	185,203 (1,702)	87,696 (2,056)	( )	( )	
●滞在コンテンツ利用者数 (人)	目標	( )	( )	480 (25)	400 (85)	500 (135)	603 (185)
	実績	480 (25)	603 (85)	298 (52)	( )	( )	
●ガイド手配件	目			10	15	20	50

(別添) 様式 1

数 (件)	標	( )	( )	(5)	(10)	(15)	(20)
	実績	27 (4)	28 (7)	9 (2)	( )	( )	
●	目標	( )	( )	( )	( )	( )	
	実績	( )	( )	( )	( )	( )	

**指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方**

**【検討の経緯】**

滞在交流型観光を行っていく上で滞在コンテンツを充実させること、情報を来訪前に届けることは重要であり、年々、増加させていく目標値を作る。ただし、自然災害の影響により急激に落ち込むことも想定されるため、そうした場合には常に見直しを行う。

令和2年度から続いている新型コロナウイルスの感染拡大の影響を踏まえ、令和3年度以降の目標値の見直しを行った。

**【設定にあたっての考え方】**

●HPアクセス数

情報発信において最も有効な手段の一つ。認知度向上、滞在コンテンツの利用に繋げるためにもHPの閲覧数を増やしていく考えは重要。

平成30年は国東半島六郷満山が開山して1300年の記念の年にあたり、平成28年からプロモーションキャンペーンが行われ、平成29年に六郷満山特集ページを新規開設し閲覧が大幅に伸びた。しかしプロモーションキャンペーンが終了したことから、令和2年からは閲覧数が減少。また、令和2年3月に公式HPのセキュリティ対策、スマホ対応を目的にHPを改修しページ数が縮小したことから、PVが減少することが予想される。

●滞在コンテンツ利用者数

地域活性化を目指した滞在交流型観光を目指すにあたり、滞在コンテンツを充実させ、利用を拡大させていくことが重要。

主力となる商品を新たに企画し、利用者数の増加を目指す。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少することを想定。

令和3年度には国内を中心に実績を伸ばし、令和元年度程度に回復したい。

●ガイド手配件数

歴史・文化をテーマとした観光地域づくりを行っていることから、ガイドが重要となっている。

現在の利用は首都圏の旅行会社によるバスツアーによるガイド手配の多くを占めているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により団体旅行が見直される中、利用数はいったん減少することが予想される。

英語ガイドの育成、ネットワーク強化を図り、インバウンド対策を強化することで増加を図る。

## 7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

## (1) 収入

年(年度)	総収入(円)	内訳
2017(H29)年度	88,278,666(円)	【国からの補助金】 14,616,317 【市町村からの負担金】 68,013,000 【事業受託収入】 1,279,800 【収益事業】 1,244,510 【会費】 290,000 【その他】 2,835,039
2018(H30)年度	45,339,354(円)	【国からの補助金】 6,956,180 【市町村からの負担金】 37,880,000 【事業受託収入】 720,000 【収益事業】 1,386,765 【会費】 380,000 【その他】 119 【前年度繰越金】 3,020,548
2019(R1)年度	50,325,886(円)	【国からの補助金】 3,706,280 【市町村からの負担金】 31,980,000 【事業受託収入】 5,125,890 【収益事業】 4,533,492 【会費】 380,000 【その他】 132 【前年度繰越金】 4,600,092
2020(R2)年度	51,912,198(円)	【国からの補助金】 4,751,339 【県からの補助金】 999,990 【市町村からの負担金】 26,108,661 【事業受託収入】 10,971,781 【収益事業】 814,619 【会費】 390,000 【その他】 175 【前年度繰越金】 7,875,663(円)
2021(R3)年度	46,465,663(円)	【国からの補助金】 5,000,000 【市町村からの負担金】 32,000,000 【収益事業】 1,200,000 【会費】 390,000 【前年度繰越金】 7,875,663(円)
2022(R4)年度	46,465,663(円)	【国からの補助金】 5,000,000 【市町村からの負担金】 32,000,000 【収益事業】 1,200,000 【会費】 390,000 【前年度繰越金】 7,875,663(円)
2023(R5)年	46,465,663(円)	【国からの補助金】 5,000,000

## (別添) 様式 1

度		<b>【市町村からの負担金】 32,000,000</b> <b>【収益事業】 1,200,000</b> <b>【会費】 390,000</b> <b>【前年度繰越金】 7,875,663 (円)</b>
---	--	--

## (2) 支出

年(年度)	総支出	内訳
2017 (H29) 年度	85,258,118 (円)	<b>【一般管理費】 17,066,898</b> <b>【情報発信・プロモーション】 26,345,156</b> <b>【受入環境整備等の着地整備】 16,044,695</b> <b>【コンテンツ開発 (観光資源の磨き上げ)】 6,174,466</b> <b>【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】 2,608,414</b> <b>【収益拡大事業】 3,866,813</b> <b>【その他】 13,248,562</b>
2018 (H30) 年度	40,739,262 (円)	<b>【一般管理費】 16,059,960</b> <b>【情報発信・プロモーション】 8,227,377</b> <b>【受入環境整備等の着地整備】 3,630,445</b> <b>【コンテンツ開発 (観光資源の磨き上げ)】 1,674,428</b> <b>【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】 4,029,434</b> <b>【収益拡大事業】 1,529,518</b> <b>【その他】 5,588,191</b>
2019 (R1) 年度	42,450,223 (円)	<b>【一般管理費】 15,798,998</b> <b>【情報発信・プロモーション】 10,119,911</b> <b>【受入環境整備等の着地整備】 4,636,945</b> <b>【コンテンツ開発 (観光資源の磨き上げ)】 2,861,699</b> <b>【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】 3,747,807</b> <b>【収益拡大事業】 4,320,105</b> <b>【その他】 3,534,023</b>
2020 (R2) 年度	59,876,444 (円)	<b>【一般管理費】 15,808,987</b> <b>【情報発信・プロモーション】 9,407,218</b> <b>【受入環境整備等の着地整備】 5,941,380</b> <b>【コンテンツ開発 (観光資源の磨き上げ)】 2,583,025</b> <b>【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】 2,363,103</b> <b>【収益拡大事業】 439,873</b> <b>【その他】 3,277,884</b>
2021 (R3) 年度	46,465,663 (円)	<b>【一般管理費】 16,390,000</b> <b>【情報発信・プロモーション】 5,500,000</b> <b>【受入環境整備等の着地整備】 2,700,000</b> <b>【コンテンツ開発 (観光資源の磨き上げ)】 3,500,000</b> <b>【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】 4,300,000</b> <b>【収益拡大事業】 9,075,663</b> <b>【その他】 5,000,000</b>

(別添) 様式 1

2022 (R4) 年度	46,465,663 (円)	【一般管理費】 16,390,000 【情報発信・プロモーション】 5,500,000 【受入環境整備等の着地整備】 2,700,000 【コンテンツ開発 (観光資源の磨き上げ)】 3,500,000 【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】 4,300,000 【収益拡大事業】 9,075,663 【その他】 5,000,000
2023 (R5) 年度	46,465,663 (円)	【一般管理費】 16,390,000 【情報発信・プロモーション】 5,500,000 【受入環境整備等の着地整備】 2,700,000 【コンテンツ開発 (観光資源の磨き上げ)】 3,500,000 【マーケティング (市場調査、ブランド戦略等)】 4,300,000 【収益拡大事業】 9,075,663 【その他】 5,000,000

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

- 関係市町村からの負担金の確保  
持続的に運営できるDMOを確立するため、法人化にあたり各市町村の負担金を大幅に増額した。
- 旅行業務  
当観光圏のコンセプトを体感できる着地型旅行商品を造成・販売する。  
ガイド、体験、交通、宿泊等を組み合わせた、付加価値の高い高単価商品とする。
- 各種物販事業 (特産品のネット販売や各種グッズ販売など) の検討

8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

<都道府県の意見>  
・大分県、別府市、中津市、宇佐市、国東市、豊後高田市、杵築市、日出町、姫島村は、(一社) 豊の国千年ロマン観光圏を大分県および市町村における地域連携DMOとして登録したいので申請します。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	堤 栄一郎
担当部署名 (役職)	一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏
所在地	大分県別府市京町 11-8
電話番号 (直通)	0977-85-8511
FAX 番号	0977-85-8516
E-mail	jikuhaku@millennium-roman.jp

## 10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	別府市
担当者氏名	後藤 寛和
担当部署名(役職)	観光戦略部 観光課
所在地	大分県別府市上野口町1-15
電話番号(直通)	0977-21-1111(代表)
FAX番号	0977-23-0552
E-mail	tou-te@city.beppu.oita.jp

都道府県・市町村名	中津市
担当者氏名	安部 駿次郎
担当部署名(役職)	観光推進課(主幹)
所在地	大分県中津市豊田町14番地3
電話番号(直通)	0979-22-1111(内線321)
FAX番号	0979-24-4020
E-mail	abe.shunjiro@city.nakatsu.lg.jp

都道府県・市町村名	宇佐市
担当者氏名	小野 恭平
担当部署名(役職)	経済部 観光・ブランド課
所在地	大分県宇佐市大字上田1030番地の1
電話番号(直通)	0978-32-1111(内線474)
FAX番号	0978-32-2324
E-mail	tourism07@city.usa.oita.jp

都道府県・市町村名	豊後高田市
担当者氏名	井上 重信
担当部署名(役職)	商工観光課(係長)
所在地	豊後高田市是永39番地3
電話番号(直通)	0978-25-6219
FAX番号	0978-22-0955
E-mail	shigenobu@city.bungotakada.oita.jp

都道府県・市町村名	国東市
担当者氏名	福田 智宏
担当部署名(役職)	観光課(課長補佐)
所在地	大分県国東市国東町小原2662番地1
電話番号(直通)	0978-72-5168
FAX番号	0978-72-5173
E-mail	fukuda.tomohiro@city.kunisaki.lg.jp

都道府県・市町村名	杵築市
担当者氏名	袋井 義範
担当部署名(役職)	商工観光課(課長補佐)
所在地	大分県杵築市大字杵築377番地1
電話番号(直通)	0978-62-3131(代表)
FAX番号	0978-63-3833

## (別添) 様式 1

E-mail	yoshinori-fukuroi@city.kitsuki.lg.jp
都道府県・市町村名	日出町
担当者氏名	西原 千貴
担当部署名 (役職)	商工観光課 (課長補佐)
所在地	大分県速見郡日出町 2 9 7 4 番地 1
電話番号 (直通)	0 9 7 7 - 7 3 - 3 1 5 8
FAX 番号	0 9 7 7 - 7 3 - 3 1 6 9
E-mail	nishihara.kazuyoshi@town.hiji.lg.jp
都道府県・市町村名	姫島村
担当者氏名	須賀 香葉
担当部署名 (役職)	水産・観光商工課
所在地	大分県東国東郡姫島村 1 6 3 0 - 1
電話番号 (直通)	0 9 7 8 - 8 7 - 2 2 7 9
FAX 番号	0 9 7 8 - 8 7 - 3 6 2 9
E-mail	suikan02@vill.himeshima.lg.jp
都道府県・市町村名	大分県
担当者氏名	西山 純平
担当部署名 (役職)	商工観光労働部 観光誘致促進室 (主事)
所在地	大分県大分市大手町 3 - 1 - 1
電話番号 (直通)	0 9 7 - 5 0 6 - 2 1 2 2
FAX 番号	0 9 7 - 5 0 6 - 1 7 2 9
E-mail	hiyama-jumpei@pref.oita.lg.jp
都道府県・市町村名	大分県
担当者氏名	佐藤 咲
担当部署名 (役職)	東部振興局 地域創成部
所在地	大分県国東市国東町安国寺 7 8 6 - 1
電話番号 (直通)	0 9 7 8 - 7 2 - 0 8 5 7
FAX 番号	0 9 7 8 - 7 2 - 0 1 9 4
E-mail	sato-saki@pref.oita.lg.jp
都道府県・市町村名	大分県
担当者氏名	田代 菜々
担当部署名 (役職)	北部振興局 地域創成部 (主査)
所在地	大分県宇佐市大字法鏡寺 2 3 5 - 1
電話番号 (直通)	0 9 7 8 - 3 2 - 1 3 7 3
FAX 番号	0 9 7 8 - 3 2 - 4 3 2 2
E-mail	tashiro-nana@pref.oita.lg.jp



# 法人名：一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏

## 登録区分名：地域連携DMO

【区域】 大分県 別府市、中津市、宇佐市、国東市、豊後高田市、杵築市、日出町、姫島村

【設立日】 平成29年4月3日

【登録日】 平成29年11月28日

【代表者】 代表理事 田北 浩司・西田 陽一

【マーケティング責任者(CMO)】

事務局長 堤 栄一郎

【財務責任者(CFO)】

事務局長 堤 栄一郎

【職員数】 3人

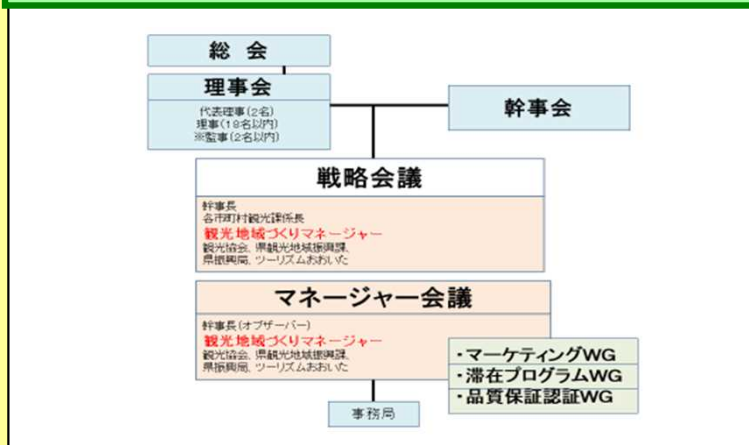
(常勤3人(正職員2人、臨時職員1人))

【連携する主な事業者】

各地域の旅館ホテル組合や交通事業者、農林水産業者、大学、宇佐国東半島を巡る会など

# 千年の記憶がひもとく 知られざる日本 ～千年ロマン時空の旅～

## 実施体制



## マーケティング・マネジメントする区域

【主な観光資源】

- ・宇佐神宮
- ・国東半島六郷満山
- ・田染荘
- ・城下町  
(中津、杵築、日出)
- ・別府温泉
- ・昭和の町
- ・姫島



## 合意形成の仕組み

【該当する登録要件】 ②

【概要】

地域住民、民間団体、行政とネットワークを持つ観光地域づくりマネージャーが、DMOと連携して戦略策定、企画立案し、行政関係者が入る戦略会議にて再度議論し承認される。必要に応じてワーキンググループを設置。

## 法人のこれまでの活動実績

【情報発信・プロモーション】

・地域一体となったプロモーション・セールス役割分担、ターゲットを明確にし、DMO、行政、観光協会が一体となって情報発信を行う。

【観光資源の磨き上げ】

・滞在コンテンツの充実

観光地域づくりマネージャーが中心となり当地域ならではの歴史・文化を体感できる滞在コンテンツを企画。DMOがプラットフォームとなり販売する。

【受入環境の整備】

- ・観光案内所連携強化
- ・ガイド育成
- ・観光品質認証制度「SAKURA QUALITY」

## 戦略

【主なターゲット】

欧・豪の富裕層

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

国東半島六郷満山文化など、千年以上続く歴史・文化をテーマとした滞在コンテンツを企画・活用し、ガイド、宿泊、交通を組み合わせた滞在ツアーを造成・販売し、滞在交流観光を目指す。  
旅行会社、ランドオペレーター、海外OTAを通じた滞在ツアー、コンテンツの販売強化。  
観光案内所の連携強化による圏域内の滞在・周遊促進。  
全国13観光圏が連携したプロモーション。  
九州3観光圏の連携によるプロモーション。

## 観光関連事業者と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

観光関連事業者とネットワークを持つ観光地域づくりマネージャーが中心となり、地域の声を反映した長期戦略を策定し実行する。  
団体毎にターゲット、役割分担を明確化し、無駄のないプロモーションを行う。

## KPI(実績・目標)

※( )内は訪日外国人旅行者に関する数値

項目	2018 (H30) 年度	2019 (R1) 年度	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R3) 年度	2023 (R4) 年度
旅行消費額 (円) ※一人あたり	目標	( )	29,966 (31,004)	28,398 (65,204)	30,398 (67,204)	32,398 (69,204)
	実績	34,455 (79,174)	28,398 (65,204)	25,498 (集計なし)	( )	( )
延べ宿泊者数 (千人)	目標	( )	3,427 (725)	2,161 (20)	2,461 (100)	2,861 (300)
	実績	3,421 (663)	3,275 (604)	1,816 (集計なし)	( )	( )
来訪者満足度 (%) ※大変満足	目標	( )	21.0 (15.7)	24.6 (26.2)	32.5 (26.7)	32.6 (27.2)
	実績	16.7 (19.7)	24.1 (25.7)	32.4 (集計なし)	( )	( )
リピーター率 (%)	目標	( )	58.9 (24.5)	58.1 (30.3)	62.4 (30.8)	62.5 (31.3)
	実績	58.0 (23.7)	57.6 (29.8)	62.3 (集計なし)	( )	( )

## 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

【主な収入】 市町村負担金、補助金(国)、事業受託収入、収益事業(旅行業等) 約52百万円

【総支出】 約40百万円(一般管理費16百万円、事業費20百万円、収益事業50百万円、その他3百万円)

【自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針】  
市町村負担金による継続した運営。旅行業等による収益事業の拡大